



八千代台駅東口ロータリーの時計塔をリニューアル 八千代ライオンズクラブが創立50周年を記念して

京成八千代台駅東口のロータリーにある時計塔を、今年で創立50周年を迎える八千代ライオンズクラブがリニューアルしました。この時計塔は、平成元年に同クラブが20周年を記念して建立したもので、時計が正確な時間を刻まなくなり、眺める人も少なくなっていました。

今回、電波時計に交換し、塗装を塗り直して塔の周りに色とりどりの花を植えたことで、駅前が明るい雰囲気。今後は、定期的に草花の手入れを行うことで駅前のシンボルになればと考えています。

八千代ライオンズクラブは、1969年に市内で初めて結成しました。地域の発展と文化の向上を図りたいという思いで、現在は33人の会員が、日々の仕事の合間を縫って奉仕活動を実施。活動内容は、小・中学校での薬物乱用防止教室の

開催、地域の清掃活動、ジュニアサッカー大会の支援や児童発達支援センターへのクリスマス慰問など多岐にわたります。

「会員一同ONE TEAMとして結束し、今後もこの八千代市で肅々と奉仕活動に謹んでいきたい」と話す50周年記念式典委員長の桑原賢治さん。このリニューアル事業は、善行者表彰として市から表彰状が贈られることに。

平成を駆け抜けて令和元年に復活を遂げた時計塔は、これからも時を刻み続けながら、街の発展を見守っていきます。

〔アメリカ発祥のライオンズクラブ〕
1917年にアメリカのシカゴでビジネス界のリーダーだったメルビン・ジョーンズが立ち上げた団体。「We Serve (われわれは奉仕する)」がモットー。現在は世界に4万8,000のクラブと140万人の会員がいます。



▲市長へ目録を渡す50周年記念式典委員長の桑原賢治さん(中央)と、その右手栗飯原靖司会長を囲む会員の皆さん



▶記念プレートも設置された時計塔

おめでとうございます(敬称略)

危険業務従事者叙勲

【瑞宝双光章】

▶防衛功労 齊藤幸吉(高津)、吉川宏(桑納)

【瑞宝単光章】

▶消防功労 會田勇(八千代台東)
▶防衛功労 日野進(大和田新田)
▶警察功労 大木彦邑(萱田町)、大胡文夫(八千代台北)、近藤雅博(勝田台)、堀智恵子(八千代台東)、渡邊重視(八千代台北)

宝くじのコミュニティ助成事業を活用 小板橋連合町会が太鼓とはんてんを購入



▲太鼓やはんてんにはクレーちゃんのスールが貼られています

宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源として実施しているコミュニティ助成事業。大和田の小板橋連合町会では、この事業を利用して太鼓とはんてんを購入しました。

10月5日には、毎年開催している子ども神輿祭で、初めてお披露目され、勇ましい太鼓の音を響かせました。

地元企業・行政・学校が一体となり八千代の魅力をPR イオンモール八千代緑が丘でローズカーニバル

10月4日から14日までの11日間、イオンモール八千代緑が丘でローズカーニバルが開催されました。市の花「バラ」をテーマに、地元企業・行政・学校が一体となって、八千代の魅力をPRするイベントで、2回目を迎えます。

5日の開会式に合わせて行われたのは、みどりが丘小学校の6年生が「地球環境と人に優しいまち」をテーマに考えたアイデアの発表会。未来の八千代をイメージしたジオラマも展示されました。太陽光の力を使って動くオートウォークや犯罪を未然に防ぐためにドローン基地を整備するなど、子どもたちならではの案の数々が発表されました。

やちよ京成バラ園は、クイズ大会

や育成セミナーなどを開催。東葉高速鉄道は、駅員の制服を着た記念撮影や、プラレール体験を行い、子どもたちは運転士になった気分、目を輝かせていました。ぬいぐるみやキーホルダーなどのやちよグッズ販売も行われ、会場を盛り上げました。



▲ジオラマを熱心に見ていました

八千代歌壇

佐波 洋子選

卓上にころがしている生卵夫よ私の腕に触るるな

緑陰の八幡宮の参道に茅の輪くぐりて夏空に入る

祖母逝きて夜半に帰りし母ひとり里の螢を蚊帳に放ちぬ

松の枝に虫籠吊し鈴虫の鳴く音待ちをり月照る庭に

ひんやりと猛暑忘れてひざまずく「鑑三」ゆかりの石の教会

染めるなら淡きブルーとハンカチを色取月の青空にかざす

壁ぎわに残る落書きの孫は去り幼言葉も消えて二月

みどりこの喃語とママの声がけは妙なる対話くいぞめの席

ビル側の植込に立つ山法師排ガスにめげず大輪の咲く

選評 一首目、上の句、危うい行為が単に無為な遊びで無く内面の不安定感を伝え、そういう自分をそととしておいて欲しいという下の句を巧みに引き出している。二首目、茅の輪を潜った時に、視野が開けて夏空に入り込んだような感覚。下の句で成功。三首目、祖母の魂のような螢は観念でなく、母の行為が悲しくも美しくリアルな場面として浮かぶ。結句は「放てり」と動きを出す。

やちよ川柳

八千代川柳連盟選

匙加減効かぬ心の疲労感 大和田新田 齋藤キミ子

ああ言えはこう言う妻の天邪鬼 緑が丘 黒木 麗

行きずりの風も余生の応援歌 勝田台 三宅 洋子

鯛雲見つけた日から夏じまい 大和田 関川由美胡

何よりも平和がイチと決めている 大和田 塔ヶ崎咲智子

災害に手と手をつなぎ人の愛 勝田台 芹田 慶玉

奥の手は明かさぬ母の良い笑顔 八千代台北 新木さち子

夏祭り神輿の跡の水煙 大和田新田 羽柘田 廣

枕もと洒落た川柳一ひねり 緑が丘 菱屋賢太郎

形などない愛情の栄養素 村上 菊田差知子

会えればよし雨予報など気にしない 勝田台 植田 絵里

防災無線自動電話応答サービス
0120(970)911
24時間以内の防災無線放送の
内容を確認できます